二〇二一年六月一九日

水族館涼しイルカの芸達者　こすもす

塗畦にひたひた迫る代田水　せいじ

農家カフェ吊す玉葱一品に　かかし

一面に風の遊べる芥子の丘　はく子

緑陰に従軍の碑と力石　凡士

への字口歪め息吐く蟇　素秀

あめんぼう水面の雲をジプシーす　宏虎

釣り終へて水平線の大夕焼　かかし

簾吊る一人暮らしの二階にも　よう子

黒潮の沖の明りや枇杷熟るる　よう子

十薬の錆びし小路に雑貨売る　なつき

梅の実の樋に色づく旧家かな　素秀

毎週句会秀句・みのる選・二〇二一年六月二〇日